

おさかな瓦版

No. 115

2023.9



＼ ゆたかな藻場で大きく育つ /

クロソイ



ふーちゃんのトピックス

キッズページが^{あたら}新しくなりました!

ゆたかな藻場で大きく育つ

クロソイ



おお
大きさ
やく
約15センチ

🐟 1 クロソイ

日本にいるメバルの仲間でもっと成長が速い魚

クロソイは、50センチ以上に成長するメバルの仲間です(🐟1)。日本から朝鮮半島、中国周辺の海にかけてすんでいて、日本では北海道や東北地方で多くとられています。同じメバルの仲間のウスメバルは3年で18センチ程度になりますが、クロソイは3年で30センチを超えることもあり、とくに養殖や栽培漁業(海に人の手で育てた稚魚を放流し、成長して大きくなった魚をとる漁業)にとって重要な魚です(🐟チェック)。釣り人にも人気が、港で25センチくらい、船釣りでは50センチを超えるクロソイが釣れます。クロソイは白身でしっかりした歯ごたえがあり、刺し身、塩焼、煮つけなどいろいろな料理で食べられています。

藻場で育つクロソイの赤ちゃん

多くの魚は水中で卵を産み、水中でふ化しますが、クロソイは胎生といって、おなかの中で卵がふ化して、はじめから魚の姿をしています(詳しくは「おさかな瓦版」No.109を見てね)。体の大きなメスだと、5月から6月ごろに20万尾以上の赤ちゃんを産みます(🐟2)。生まれたばかりのクロソイは約7ミリしかありません。



🐟 2 50センチを超える大きなお母さんクロソイ



🐟 3 宮古湾の藻場(左)と、そこで育つクロソイの稚魚(中央、右)



生まれたばかり
(約7ミリ)



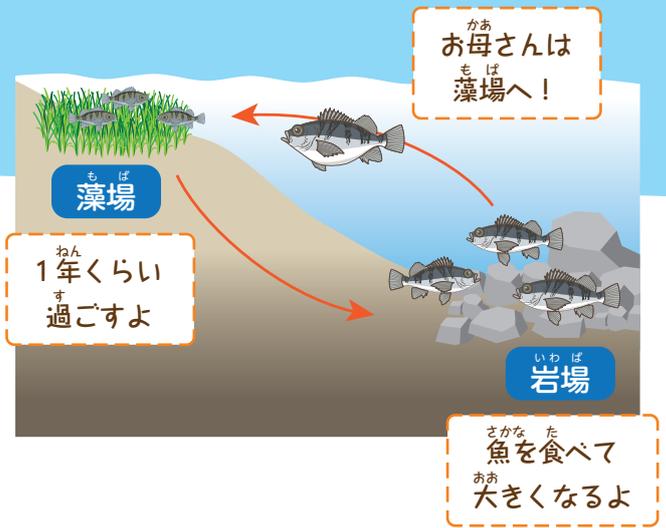
生後15日
(約1センチ)



生後30日
(約2センチ)



生後45日(稚魚)
(約4センチ)



4 クロソイの成長と、生活する場所の変化

東北地方の三陸沿岸では、夏の海水浴場で、4センチくらいに育ったクロソイの稚魚を見ることができます。クロソイの稚魚は、藻場で小型のエビ・カニ類やゴカイ類などを食べて育ちます(🐟3)。体が大きくなると岩場へ移動して小さい魚も食べるようになります。

赤ちゃんを産みに再び藻場へ

クロソイの赤ちゃんは、うろこがなく、ひれは薄く弱々しいです。栽培漁業で育てる場合、放流しても生き残れる大きさ(約4センチ)になるまで45日くらいかかります。約20センチ

に成長すると、少し深い場所に移動して、魚などを食べて大きくなります。さらに成長すると、冬に交尾をします。おなかが大きくなったメスは、藻場の近くに帰ってきて、赤ちゃんを産みます(🐟4)。

藻場は、埋め立てなどで人間の活動の影響を受けやすい場所です。私たちは、稚魚が育つ場所の調査や藻場を作る研究をしています。



野田 勉



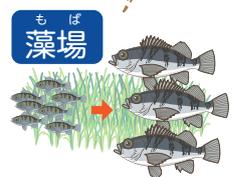
チェック

放流に向いている場所は？

栽培漁業では、稚魚を放流する場所を決めるのはとても大切なことなんだ。稚魚にとって安全な場所に放流しないと、すぐ敵に食べられたり、エサが見つからなかったりして死んでしまうんだ。

野田さんたちは、岩手県の宮古湾の藻場と岩場に稚魚を放流して、どちらに放流した方がいいか調べてみたよ。その結果、藻場の方がクロソイの稚魚がエサが多くて育ちやすく、放流場所に向いていることが分かったんだ。

岩場の約3倍とれたよ





ふーちゃんのトピックス

キッズページが
あたらしく
新しくなりました!

2023年8月1日に水産研究・教育機構のウェブサイトが新しくなりました! キッズページもURLが変わったので、ブックマークしているみなさんは、新しいURLに変更をお願いします。これからも、みなさんに海の楽しさをお届けしていきます♪



▶ **新しい水産研究・教育機構のページ** : <https://www.fra.go.jp/>

▶ **新しいキッズページ** : <https://www.fra.go.jp/forkids/>

ペーパークラフト

新作をどんどん追加しています。

一緒に海の生き物たちを作って、楽しい時間を過ごしましょう!



ヤマトカマス



シイラ



イシガレイ



ヨロイタチウオ



ホタルジャコ

★今年度の新作(8月21日時点)

アイナメ	キビナゴ	ムロアジ
アマゴ	カイワリ	ヨロイタチウオ
ミニ水族館	イボダイ	ヤマトカマス
ニホンウナギ	コノシロ	シイラ
アカカマス	アオダイ	首ふりウナギ(尾頭一体タイプ)
ウルメイワシ	ニギス	首ふりウナギ(尾頭分離タイプ)
アカガレイ	イシガレイ	コブダイ

★飛び出すペーパークラフト

タコ
ムラサキオカヤドカリとリュウテンサザエ
シロスジフジツボ
ムラサキオカヤドカリとカズラガイ



ふーちゃん



ふっくん

: あんじい仙人  のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.115 (2023年9月発行)

編集・発行: 国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先: 広報課

〒221-8529 横浜市神奈川区新浦島町一丁目1番地 25

テクノウェイブ100 6階

TEL. 045-277-0136(広報課) FAX. 045-277-0015

ウェブサイト <https://www.fra.go.jp/>

Facebook



Facebook <https://www.facebook.com/fra.go.jp>

X (旧Twitter) https://twitter.com/fra_go_jp

YouTube <https://www.youtube.com/channel/UC1ITVadqC6P9vmHAUieAN9Q>

X (旧Twitter)



YouTube



ふらっとらぼ

YouTube 新チャンネル!

ふらっとらぼ https://www.youtube.com/channel/UCAdoIX5vmEOZrDH5I_ZFa5w



ひょうしゃしん
表紙写真



もぎおよ
藻場を泳ぐクロソイ

見てね!

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。